

第一章 学ぶ

- 12 学ぶよろこび  
学而時習之、不亦説乎
- 14 30歳まではモラトリアム  
吾十有五而志于学、三十而立
- 16 真似てみることから  
見賢思齊焉、見不賢而内自省也
- 18 学び、考え、学び、考える  
学而不思則罔、思而不学則殆
- 20 何のために学ぶのか  
古之学者為己、今之学者為人
- 22 学びつづける  
行有余力、則以学文
- 24 まだ知らぬことがある  
知之為知之、不知為不知、是知也
- 26 生まれによる差はない  
有教無類
- 28 学ぶ人が決める  
可与共学、未可与適道
- 30 誰にも理解されなくても  
不怨天、不尤人
- 32 楽しむ人には敵わない  
知之者不如好之者、好之者不如樂之者
- 34 良き教師とは  
子絶四、母意、母必、母固、母我
- 36 三人の力  
三人行、必有我師焉
- 38 教えるということ  
不憤不啓、不悱不発

第二章 働く

- 40 過剰と過少  
過猶不及也
- 42 「コラム」孔子について
- 44 あなたの存在は否定されない  
人不知而不愠、不亦君子乎
- 46 それぞれの得意を伸ばす  
知者不惑、仁者不憂、勇者不懼
- 48 最後までやりきる  
未成一簣、止吾止也
- 50 終わったことは終わったこと  
成事不説、遂事不諫、既往不咎
- 52 長所として活かす  
君子成人之美、不成人之惡
- 54 自分を信頼したい  
見義不為、無勇也
- 56 認めることで、認められる  
不患人之不己知、患己不知人也
- 58 叱るより教えよう  
礼之用和為貴
- 60 まずは真摯に向かってみよう  
言寡尤行寡悔、禄在其中矣
- 62 部分でとらえる  
君子不以言举人、不以人廢言
- 64 自分の得より大切なもの  
放於利而行、多怨
- 66 迷い道は宝物  
吾少也賤、故多能鄙事

### 第三章

#### 思いやる

- 68 食うために仕事をする 吾豈匏瓜也哉、焉能繫而不食
- 70 ねぎらう代わりに感謝する 先之勞之
- 72 若者たちは恐るべし 後生可畏也、焉知來者之不如今也
- 74 能力よりも人柄の良さ 驥不称其力、称其德也
- 76 思わぬ所で花を摘む 吾不試、故芸
- 78 「コラム」孔子の弟子
- 80 友との出会いは、新しい自分との出会い 有朋自遠方來、不亦樂乎
- 82 して欲しいことをしてあげる 夫仁者己欲立而立人、己欲達而達人
- 84 親というもの 父母唯其疾之憂
- 86 丸ごと信じる 同也非助我者也、於吾言無所不説
- 88 派閥には入らない 君子周而不比、小人比而不周
- 90 聴けば憎めない 苟志於仁矣、無惡也
- 92 最強のふたり 知者樂水、仁者樂山
- 94 親を大切にせよ、と言うけれど 又敬不違、勞而不怨

### 第四章

#### 生きる

- 96 友人には無理強いしない 忠告而善道之、不可則止
- 98 手負いの人たち 人而不仁、疾之已甚、乱也
- 100 愛される人 狂而不直、侗而不愿、慳慳而不信、吾不知之矣
- 102 語る時と黙る時 可与言而与之言、失人、不可与言而与之言、失言
- 104 まっすぐに言おう 辞達而已矣
- 106 一生の友 無友不如己者
- 108 血はつながらなくても 四海之内、皆為兄弟也
- 110 親の年齢を考える 父母之年、不可不知也
- 112 いつでも待っている 愛之能勿勞乎、忠焉能勿誨乎
- 114 大切な人を失って 噫天喪予、天喪予
- 116 「コラム」諸子百家
- 118 謝らない過ち 過而不改、是謂過矣
- 120 実行しない決断は意味がない 再思斯可矣
- 122 自分に見切りをつけない 力不足者、中道而廢、今女画

124 悪口を言う暇はない 賜也賢乎哉、夫我則不暇  
 126 立派なことは言うけれど 有徳者必有言、有言者不必有徳  
 128 反省しても、後悔しない 吾日三省吾身  
 130 人に会おう、外に出かけよう 不有博奕者乎、為之猶賢乎已  
 132 ぼんやりとして見える人 剛毅木訥近仁  
 134 声なき多数派のままではない 君子和而不同、小人同而不和  
 136 頂上につながる道が見えてくる 四十而不惑、五十而知天命  
 138 大勢の意見だからと信じるな 衆惡之必察焉、衆好之必察焉  
 140 死んだらどうなるのか 未知生、焉知死  
 142 貧しいと心が痛む 貧而無怨難、富而無驕易  
 144 理不尽を悲しむ 苗而不秀者有矣夫、秀而不実者有矣夫  
 146 人生は流れつつける 逝者如斯夫、不舍昼夜  
 148 死後に何を残すか 君子疾没世而名不称焉  
 150 変わらぬ人の営み 温故而知新  
 152 もしも私がそうであつたら 不仁者不可以久処約 不可以長処楽  
 154 「コラム」日本における論語

## 第五章 磨く

156 まっすぐ生きる 人之生也直、罔之生也、幸而免  
 158 争わない 君子無所争  
 160 何をなすか、どうあるか 老者安之、朋友信之、少者懷之  
 162 夢を実現する人 君子欲訥於言、而敏於行  
 164 「良い」「悪い」が言えますか 惟仁者能好人、能惡人  
 166 正しさを主張しない 大徳不踰閑、小徳出入可也  
 168 言葉だけではつづかない 君子恥其言而過其行也  
 170 苦しさを乗り越える時 歳寒、然後知松柏之後彫也  
 172 願いが叶ったその後 朝聞道、夕死可矣  
 174 覚悟を持って動く 君子固窮、小人窮斯濫矣  
 176 後は任せることができる 君子貞而不諒  
 178 自分が生き方をつくる 人能弘道、非道弘人也  
 180 人は多くの顔を持つ 望之儼然、即之也温、聽其言也厲  
 182 自分なりのリーダー像を描く 君子不器

第一章 学ぶ



- |                |        |      |                   |
|----------------|--------|------|-------------------|
| 189            | 188    | 186  | 184               |
| 論語の言葉を知ることについて | 論語について | 命を使う | まっすぐに降りていく        |
|                |        |      | 六十而耳順、七十而從心所欲、不踰矩 |
|                |        |      | 不知命、無以為君子也        |